

第111回教育研究評議会議事要録

日 時 平成26年2月10日（月）14時00分開会～15時40分閉会

場 所 生物資源科学部1号館2階203会議室

欠席者 なし

陪席者 山崎監事，宮脇監事

議事に先立ち，第110回教育研究評議会の議事要録が承認された。

議題1．法文学部長の選考について

学長から，現法文学部長の任期が平成26年3月31日で満了となることに伴う次期学部長の選考について提案があり，資料に基づき，法文学部から次期学部長候補者として吹野卓教授を選考した旨の申し出があったこと及び選考経過等の説明があった後，審議の結果，原案どおり承認された。

議題2．生物資源科学部長の選考について

学長から，現生物資源科学部長の任期が平成26年3月31日で満了となることに伴う次期学部長の選考について提案があり，資料に基づき，生物資源科学部から次期学部長候補者として荒瀬榮教授を選考した旨の申し出があったこと及び選考経過等の説明があった後，審議の結果，原案どおり承認された。

議題3．島根大学における年俸制の導入について

塩飽理事から資料に基づき，本学における年俸制の導入について，目的，適用する対象者，給与等の制度設計及び導入スケジュールの説明があった後，次のとおり意見交換が行われた。

- ・年俸制適用者の今後の拡大について質問があり，適用者数及び対象者も今後広げたいとの説明があった。
- ・年俸制適用者に関し措置される予算の取扱いについて質問があり，平成26年度は均等配分とし，次年度以降は議論の上，メリハリをつけたい旨説明があった。
- ・インセンティブ経費が十分に確保されない場合は，業績が反映されず，給与が下がる場合も考えられるので，経費を確保して欲しいと意見があり，年俸制のメリットを生かせるよう今後検討したいとの説明があった。
- ・新規採用者への年俸制適用の開始時期とその前に実施する教員の公募時期の扱いについて質問があり，学長から新規採用者への年俸制適用の開始時期は，平成27年4月1日を目指して検討し，教員の募集に支障がないようにしたいとの説明があった。

審議の結果，原案どおり承認され，学長から，次回年俸制に係る規則案を提案したい旨説明があった。

報告事項

報告事項2．塩飽理事から資料に基づき，非常時に対応できるよう日常的な情報共有や人材育成を図る「防犯・防災ネットワークしまだい」について，活動内容，組織及び登録方法等の説明があった。また，辻理事から，本学の危機管理体制の見直しについて，3月に見直し後の危機管理体制を決定したい旨，併せて説明があった。

報告事項 3. 井川理事から資料に基づき、医学部附属病院における今年度の診療稼働額及び収入額の推移、8月及び年末年始の病床稼働率の推移、並びに附属病院の取組み及び今後の収入見込み等について報告があった。

報告事項 4. 辻理事から資料に基づき、平成26年度予算編成方針について、基本的考え方、特徴及び経費名称の改定内容等の説明があった。

また、学長から、戦略的教職員ポスト再配置経費については、機構の中の人件費による人材の再配置という意味であり、表現を改める旨説明があった。

報告事項 5. 肥後理事から資料に基づき、平成22年度から平成26年度入試の前期日程・後期日程の年度別、学部・学科別志願状況について報告があった。

報告事項 6. 肥後理事から、平成26年度個別学力試験実施に伴う構内立入り制限について協力依頼があった。

報告事項 7. 肥後理事から、平成27年度入試問題の作成にあたり、科目代表者の推薦について協力依頼があった。

報告事項 8. 学長から、大学院法務研究科の今後について、現在の状況及び今後の見通し等について説明があった。